

1枚の写真を拡大すると… みんなのために昼夜働く人々

写真は、かつて存在した消防局玉江橋分署の火の見櫓です。

玉江橋分署の歴史は以下の通りです

1948年 3月 尼崎市消防本部および尼崎市消防署が発足

1962年10月 消防局が市庁舎に移転、旧消防局は玉江橋出張所となる

1964年 9月 玉江橋出張所を玉江橋分署に改称

1969年 6月 中消防署移転に伴い 玉江橋分署を廃止



この写真を拡大してみると…



通常サイズの写真では全く気づきませんでした、超拡大すると、何と双眼鏡で見張る職員さんが見られます。昼夜や寒暖を問わず市民のために働く姿に感謝です。今では、火の見櫓もなくなり、人の眼に代わって監視カメラシステムが稼働しています。このように、時の流れとともに街の様子も変わっていきますが、先人の労苦のもとに今があるということを忘れないようにしたいです。